

BUSINESS REPORT

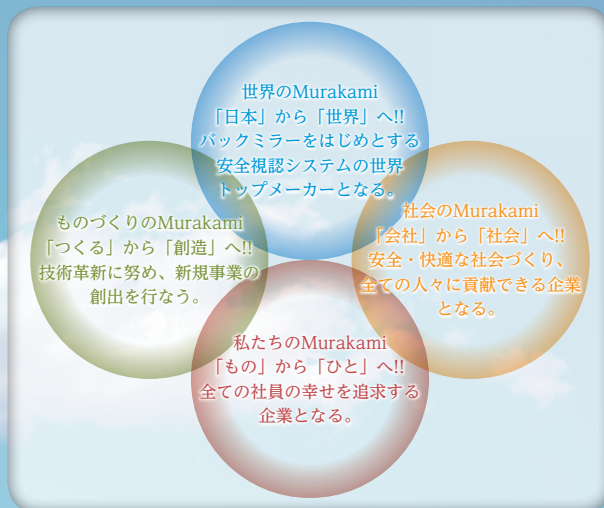
第74期第2四半期報告書 2016年4月1日>>>2016年9月30日

株式会社村上開明堂

証券コード：7292

私たちは、社業を通じて 「人の役に立つ」村上開明堂を 目指します。

「もの」に込める“技術”と“思い”、
企業活動を通じて「絆」を結び、
社会に「幸せ」を提供し、輝く未来をつくります。



ミラーシステム事業

自動車用バックミラーは、コンパクトなボディに薄膜・機構・電気系といった多様な技術で構成されています。この複合システムを一貫体制で自社開発・設計・生産している専門メーカーは世界でも稀で、当社はその先駆けといえます。ミラーに特化した専門技術と、次世代ミラーを実現する開発力で、国内の主要自動車メーカー各社から信頼をいただいています。近年では海外展開に注力しており、国内シェアNo.1から世界トップメーカーへの飛躍を目指しています。

オプトロニクス事業

高精度の光学薄膜技術をはじめ、ミラーシステム事業で培った多様な技術力を活かして、より幅広い分野にアプローチするオプトロニクス事業。OA機器に組み込まれる高反射ミラーや、映像機器に用いるダイクロイックミラー、自動車のヘッドアップディスプレイに組み込まれる曲面ガラスミラーなど、多様な機能を持つミラー・フィルター類を中心とした光学機器用部品の製造を行っています。ミラーシステムと同様、開発から生産までの一貫体制を強みとして、お客様の要望に合わせた柔軟な提案力で対応します。

その他事業

樹脂原料販売、物流・運送、人材派遣など、お客様のニーズに応じて多様な事業を関連会社で展開。これからも各事業のネットワーク網を拡充し、グローバルカンパニー・村上開明堂を支えていきます。

トピックス

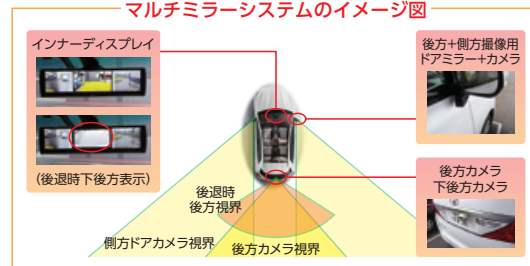
当社では、このほどルームミラーにカメラモニター機能を搭載した電子ルームミラーを開発いたしました。

本製品は、室内ルームミラーのディスプレイ全面に車輛の後方及び側後方の状況を映し出すモニターシステムです。

1画面で広範囲に後方を映し出す「ハイブリッドインナーミラー」と、後方及び側方の画像3画面を1つのミラーに映し出す「マルチミラーシステム」（下図参照）の2種類があります。

当社の電子ミラーは従来のルームミラーに電子機能を付加することにより、法改正及び安全運転に対するニーズの高まりに対応して開発されたものであり、業界初の特種ミラー素子によるディスプレイやカメラのデジタル化により、従来製品と比べ、大幅に視認性を向上しています。

マルチミラーシステムのイメージ図



社長ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、当社第74期第2四半期連結累計期間（2016年4月1日から2016年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、国内外における自動車用バックミラーの売上増加により、32,418百万円（前年同期比1.9%増）と増加いたしました。利益につきましては、営業利益は3,621百万円（前年同期比32.7%増）、経常利益は3,593百万円（前年同期比21.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,319百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

セグメント別の概況

日本では、主力の自動車用バックミラーの販売数量の増加により、売上高は19,225百万円（前年同期比12.4%増）となり、営業利益は1,842百万円（前年同期比68.1%増）となりました。

アジアでは、中国での自動車用バックミラーの販売数量が増加したものの、円高による為替換算上の影響等により、売上高は7,716百万円（前年同期比11.2%減）となりました。営業利益は、合理化諸施策の効果等により1,240百万円（前年同期比28.2%増）となりました。

北米では、米国での自動車用バックミラーの販売数量が増加したものの、円高による為替換算上の影響等により、売上高は5,476百万円（前年同期比8.8%減）となりました。営業利益は、合理化諸施策の効果等により、523百万円（前年同期比29.3%増）となりました。

中間配当につきましては、11月8日の取締役会におきまして、1株につき15円と決定いたしましたので、お受け取りくださいますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月

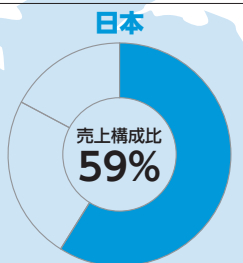


代表取締役社長 村上太郎

各国の地域性に適応し、 村上市質を世界へ。

国内自動車メーカーの世界戦略を見据え、海外5か国の生産体制確立を進めています。生産体制や市場戦略は現地の実情に照準を合わせつつも、村上のものづくりマインドと世界トップクラスの品質は一貫して踏襲しています。販路も日本に留まりません。海外企業へも積極的に拡大しています。

株式会社村上開明堂九州
株式会社村上開明堂化成
株式会社エイジー
株式会社村上エキスプレス
株式会社村上開明堂ビジネスサービス



本社（静岡市）



藤枝工場（藤枝市）



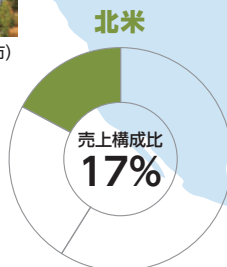
Murakami Manufacturing U.S.A.Inc. (MMUS)



大井川工場（藤枝市）



築地工場（藤枝市）



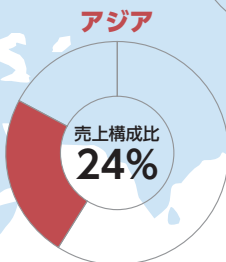
嘉興村上汽车配件有限公司 (MIC)



PT.Murakami Delloyd Indonesia (MDI)



Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V. (MMMEX)



MURAKAMI AMPAS (THAILAND) CO.,LTD. (MATCO)



Murakami Mold Engineering (Thailand) Co.,Ltd. (MMET)

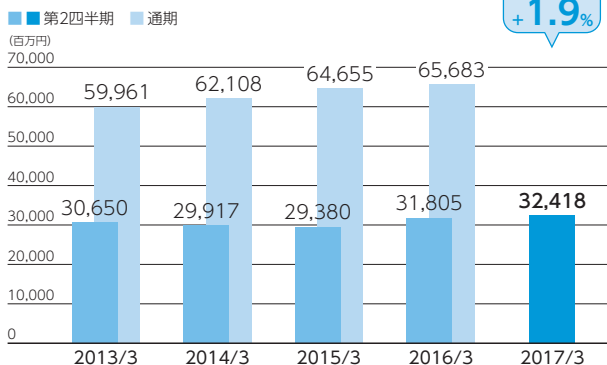


Murakami Manufacturing (Thailand) Co.,Ltd. (MMT)

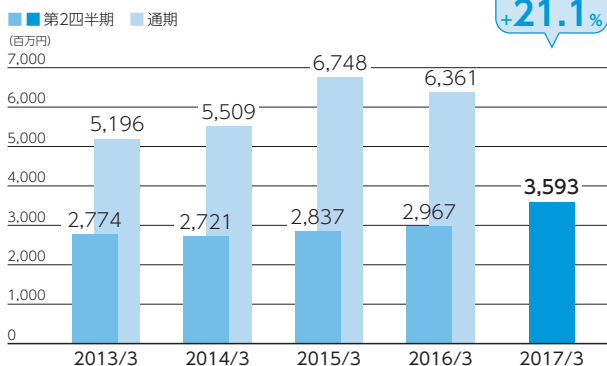


Murakami Corporation (Thailand) Ltd. (MCT)

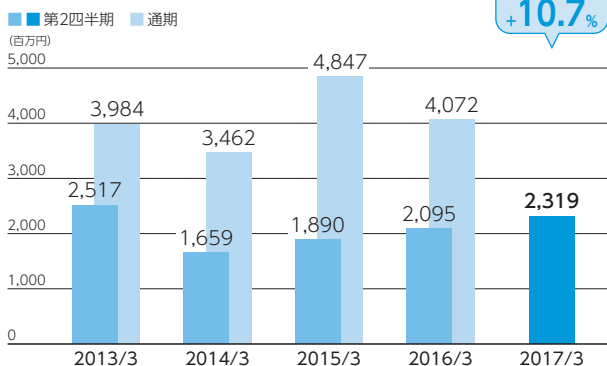
売上高



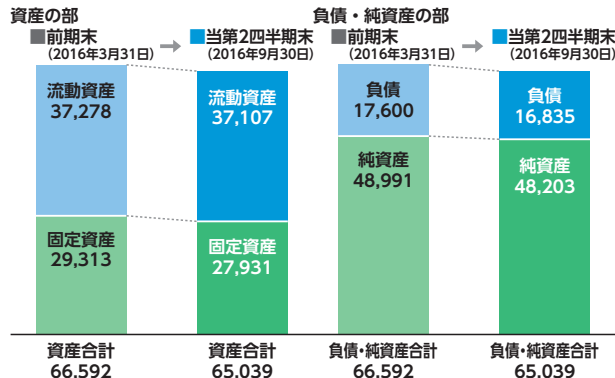
経常利益



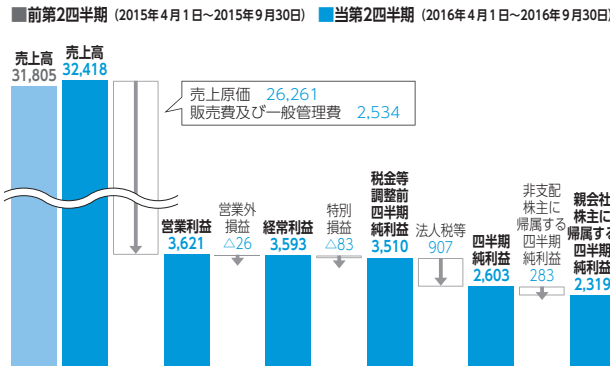
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



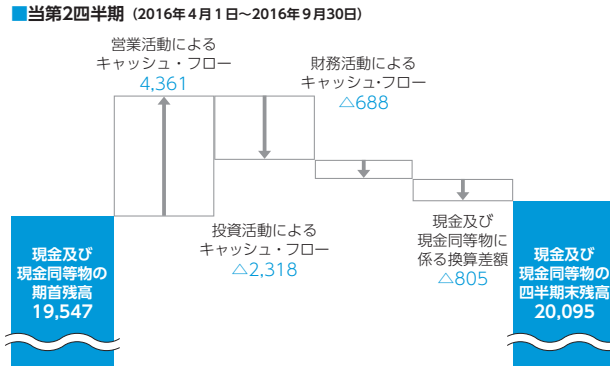
連結貸借対照表 (百万円)



連結損益計算書 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



会社の概要

商号 株式会社村上開明堂
 設立 昭和23年(1948年)3月27日
 資本金 3,165,445,000円
 発行済株式総数 13,100,000株
 事業内容 自動車用バックミラー、
 ファインガラスの製造及び販売
 従業員数 連結：2,710名 単体：903名

役員

取締役

取締役社長 村上 太郎
 (代表取締役)
 専務取締役 吉村 勝行
 常務取締役 奥野 雅治
 取締役相談役 村上 英二
 取締役 望月 義人
 取締役 沖本 美敏
 ※取締役 岩崎 清悟

(注) ※印の取締役は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

執行役員

常務執行役員 長谷川 猛
 常務執行役員 マケル ローテバグ
 常務執行役員 辻村 春樹
 執行役員 菊地 俊明
 執行役員 村松 規行
 執行役員 糟谷 篤
 執行役員 前田 健太
 執行役員 松田 裕昭

主要な事業所

本社：静岡県静岡市
 工場：藤枝工場（静岡県藤枝市）
 大井川工場（静岡県藤枝市）
 築地工場（静岡県藤枝市）

関係会社

国内

株式会社村上開明堂九州
 株式会社村上開明堂化成
 株式会社エイジー
 株式会社村上エキスプレス
 株式会社村上開明堂ビジネスサービ

監査役

監査役 増井 邦夫
 (常勤)
 ※監査役 齋藤 安彦
 ※監査役 石橋 三洋
 ※監査役 櫻井 透
 (注) ※印の監査役は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

海外

Murakami Manufacturing U.S.A.Inc.
 Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V.
 嘉興村上汽車配件有限公司
 Murakami Manufacturing (Thailand) Co.,Ltd.
 MURAKAMI AMPAS (THAILAND) CO.,LTD.
 Murakami Mold Engineering (Thailand) Co.,Ltd.
 PT.Murakami Delloyd Indonesia
 Murakami Corporation (Thailand) Ltd.

株式情報

発行可能株式総数…………… 29,900,000株
 発行済株式の総数…………… 13,100,000株
 株主数…………… 960名

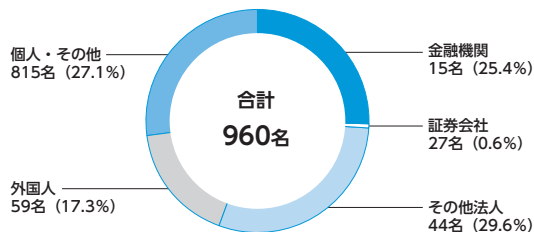
大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社豊英社	1,860	14.4
村上太郎	1,044	8.1
ビービーエイチ フォー フィデリティ ロー プライズド ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	845	6.5
旭硝子株式会社	739	5.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	624	4.8
株式会社静岡中島屋ホテルチェーン	460	3.5
株式会社静岡銀行	459	3.5
明治安田生命保険相互会社	447	3.4
バンク オブ ニューヨーク ジャーシーエム クライアント アカウント ジエイピーアルデイ アイエスジー エフイーーエイシー	436	3.3
東京中小企業投資育成株式会社	402	3.1

(注) 1. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 出資比率は、自己株式229,044株を控除して計算しております。

株式分布状況

〈所有者別〉



(注) () 内の数値は、所有株式数の構成比率となります。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 公告の方法 電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。
<http://www.murakami-kaimeido.co.jp/usIr/koukoku>
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先
(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行なっております。
- お知らせ 2016年9月1日をもちまして、単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。
※株主の皆さまにおかれましては、一切のお手続きは不要です。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

